

事業成果総合発表会

平成 14 年 4 月 16 日（火） 会津漆器協同組合の事業成果総合発表会が、福島県ハイテクプラザ 会津若松技術支援センターにて行われました。

① 会津漆器販売促進モデル事業成果物発表会

平成 12 年度に開催しました会津漆器販売促進モデル事業におきまして全国にインターネットでデザイン公募した入選作品の中から平成 13 年度に製品化に向けて試作を行ったものをこの度発表いたしました。



自然乾燥重合漆

漆は、塗ったあと乾燥風呂に入れて湿度をあたえ、乾燥させます。これは漆に含まれるラッカーゼを活性化させて酸化重合反応を進めて乾燥させるためです。

今回は、この漆の乾燥の仕組みに光を当てて、湿度の影響を受けにくい漆（自然乾燥重合漆）の研究開発を目指すこととしました。

基礎研究については、明治大学工学部の宮腰哲雄教授、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターの須藤靖典主任研究員、永瀬喜助福島県技術アドバイザーの協力を得て研究開発を進めました。その後、当産地でその漆を実際に使用し、自然乾燥重合漆の実用化試験、性能評価を実施しました。

今般、研究開発したこの自然乾燥重合漆は、環境を選ばずに乾燥し、また、乾燥時間はたいへん短いという、これまでの漆に見られない新たな可能性を発揮しました。もちろん花塗等、産業レベルで使用するためには、まだまだ調整すべき点もあります。しかし、基本的性能としては、全く新たな漆を開発したこととなり、新たな漆の活用の可能性を見出したといえます。

② 会津漆器集積活性化事業 自然乾燥性重合漆試作品発表会

経済産業省（旧通商産業省）の補助事業として取り組んだ会津漆器集積活性化事業の中で開発した自然乾燥重合漆の試作品の発表を行いました。





③ 会津漆器技能コンテスト入賞作品発表会

平成13年度よりスタートした会津漆器人材確保助成事業の一環として行われた、会津漆器技能コンテストの入賞作品を発表します。この作品は、過日、池袋の伝統工芸品センターで執り行われた全国漆器展にて展示されております。

